



毎月十五日発行
 発行所 社会大像
 〒811-35 福岡県東区東園三丁目一三番
 電話 0940-62-1311代
 定価 一年送料共 1000円

神具、装束
 結婚式場用品
 九州店 福岡市博多区東園三丁目一三番
 本社 福岡市東区東園三丁目一三番
 電話 0940-62-1311代
 電話 0940-62-1311代

文書編纂刊行事業

着々と進む

去る昭和五十九年五月に発足した宗像大社文書編纂刊行事業は、その後関係者により着々と進められてい

る。当大社には中世以降の文書、典籍類が多量に保存伝承されており、特に中央政庁との交渉に係わる一級史料も多く、その質と量は我が国神社界において屈指のものである。

所蔵文書中、中世文書は三百余点、近世文書は約三千点であるが、中世文書の

殆んどは重要文化財に指定されており、これらは九巻の巻物に仕立てられて特に大切に保管されている。

その内容は、繪旨、院宣、八条院庁下文、雄詠決断所陳、鎌倉幕府の下文、御教書、寄進状、安堵状、今川了俊書下、大内氏、大友氏関係の文書等多種多様に亘っている。

これらの文書類は今日まで一部が調査されたのみで殆んど未調査のままで、かねてから神社界、古文書学

界、歴史学界よりその調査公開が望まれていたが、漸く一昨年からその緒に就くに至ったものである。

この事業を達成するため「宗像大社文書編纂刊行委員会」が編成され、委員長に九州大学文学部教授大添昭二氏、委員に早稲田大学文学部教授瀬野精一郎氏、東京大学史料編纂所助教山口準正氏を、更に顧問として成蹊大学名誉教授小島証氏を委嘱した。諸先生方は、公務多忙の

中、本事業に協力され、年間二、三回当大社、または東京の出力美術館で委員会を開催して協議し、現段階では、それぞれの分担史料についての釈文、更に読み下しの検討や意見交換が行われ行に当たっては、学術的且つ一般の人にも興味深く、理解しやすいものとするため、本文読み下し、大意、注解を付け、更に影印本と原本の写真複製を別冊として添えるなど、従来の刊

行物にはあまり例を見ない画期的な史料集を目指している。先生方の御苦心も多量であるがこれを克服して作業は意欲的に進められている。初回の刊行は再来年の予定であるがその再刊が望まれている。

一方、こうした編纂作業と併行して、文書複製の作成も進められている。所蔵文書中、重点指定の貴重文書類については、その保存に万全を期し、更には学術上積極的活用を図るため、かねてから複製の作成が要望されていたが、昨年より業者委託して作業に着手した。業者は京都市の簡便利堂で、美術印刷の分野では最高水準の評価が高く、正倉院学術調査の撮影をはじめ豊富な実績を誇る会社である。計画では、五ヶ年分

のつかない程の精巧な間で総ての重点指定文書(出来栄であった。これら巻物九点、冊子十点)の複製は今後学術的研究資料として幅広く利用される予定である。

以上のよう一昨年発足した宗像大社文書編纂刊行事業は順調に進捗している。委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

この程、第一期分、二巻の複製五部が納入され、委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

この複製五部が納入され、委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

この複製五部が納入され、委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

この複製五部が納入され、委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

この複製五部が納入され、委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

この複製五部が納入され、委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

この複製五部が納入され、委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

この複製五部が納入され、委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

この複製五部が納入され、委員会の席上で披露されたことを紙上を以て御報告する次第である。

日本を守る国民会議の 日本史教科書検定合格

日本を守る国民会議の作成した高校用教科書『新編日本史』が検定に合格、教科書として出版の運びとなった。修正意見が約三百箇所、改善意見が約五百箇所に達し満身遺憾、最終の審議会で三時間半に及ぶ異例の長さの大議論になったが、ともかく検定の門を通過することができた。

修正を要求された主な箇所は神武東遷、征韓論争、帝國憲法、教育勅語、日露戦争、日韓併合、満洲建国、日支事変、南京事件、大東亜戦争、東京裁判等、近現代史に関するもの、ことに日中、日韓に因るものが多い。これらについては表現を改め、妥協した恰好になっているが、検定における裁量権を認めるかぎりこれは已むを得ないことである。不満の点は裁量を得ないことより、言論の場で議論を尽くすことが望ましい。そのことよって論点が明らかになるばかりでなく、国民の歴史に対する認識も深めることができる。

ともかく、このような日本の伝統をふまえた教科書ができたことの意義は大きい。現在の日本史に関する教科書の不満は大きい。事の真相を伝えて

り認識することができなかった。とて

さ、このような教科書ができたも

攻撃し撃墜しようとする姿勢がみられ

る。日教組の白書以外にはみられな

ったことで新しい傾向といわなければ

ならない。このような傾向は今のこ

ろ一部に限られているが、目を追って

それは広がり熾烈な攻撃が展開される

る。この教科書ができたことによ

って、従来の教科書の中

には内村鑑三や幸徳秋水の反戦平和の主張が異常に

強調されていたが、この教科書では乃

ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃

ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃

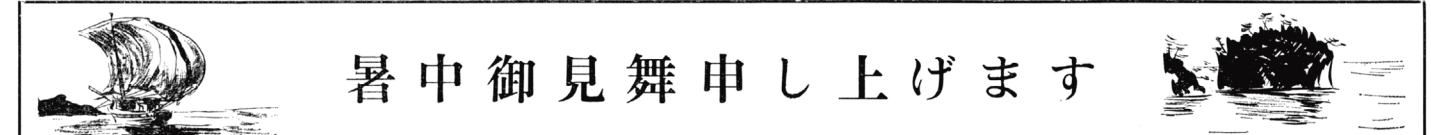
ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃

ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃

ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃

ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃

ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃ては乃



暑中御見舞申し上げます



出光

出光興産株式会社福岡支店

取締役支店長 林 史 郎

福岡市中央区大名2丁目8番26号

TEL 092-761-1831

第十回宗像大社 小倉百人一首かるた大会開催

— 静寂の中で熱い闘い —



尚各級の成績は次の通りである。

- ◇A級(三段以上)
 - 優勝 田畑 謙(千葉県)
 - 二位 原口 菜穂(九州大)
 - 三位 鶴田 究(鹿児島県)
 - 伊藤 裕之(宮崎県)
- ◇B級(二段)
 - 優勝 永野 千秋(熊本県)
 - 二位 居倉 昭彦(九州大)
 - 三位 川畑 雅昭(鹿児島大)
 - 榎木 夏子(和白丘中)

- ◇C級(初段)
 - 優勝 柴田 誠子(福岡中)
 - 二位 白井 純安(熊本大)
 - 三位 長島 和広(広島大)
 - 廣本 幸紀(広島大)
- ◇D級(一般の部)
 - 優勝 細川 玲子(北九州)
 - 二位 池田 雅子(行橋市)
 - 三位 西田ちよせ(行橋市)
 - 高尾フサエ(行橋市)

- ◇E級
 - 優勝 京谷 芳弘(古賀北中)
 - 二位 龍 英晴(古賀北中)
 - 三位 井上 亮子(日の里中)
 - 廣田 優子(時津中)
 - 小磯 亜紀(筑紫女)
 - 坂本由貴(時津中)
 - 川津 哲司(箱崎中)
 - 小学五・六年の部
 - 優勝 山下 明子(日佐小)
 - 二位 安本 直江(日佐小)
 - 三位 藤瀬 周一(日佐小)
 - 門岡 大輔(日佐小)

- 小学四年以下の部
 - 優勝 西田 隆子(日佐小)
 - 二位 前田 綾(日佐小)
 - 三位 手島 知佐(日佐小)
 - 永吉 智美(日佐小)
- ◇E級
 - 入賞 細川 玲子(北九州)
 - 市・吉志 実希子(日の里中)
 - 清水 千草(日佐小)
 - 竹下 正文(美和台小)
 - 米倉 利香(古賀北中)
 - 以上

- 優勝 中野千香子(筑紫女)
- 二位 原 文枝(福岡中)
- 三位 中牟田佳英(筑紫女)
- 柳沢めぐみ(筑紫女)
- 宮崎 宏子(九州大)
- 安田女子大
- 安田女子大
- 安田女子大

- 優勝 増永 剛(古賀北中)
- 二位 柳沢めぐみ(筑紫女)
- 三位 中牟田佳英(筑紫女)
- 柳沢めぐみ(筑紫女)
- 宮崎 宏子(九州大)
- 安田女子大
- 安田女子大
- 安田女子大

- 優勝 増永 剛(古賀北中)
- 二位 柳沢めぐみ(筑紫女)
- 三位 中牟田佳英(筑紫女)
- 柳沢めぐみ(筑紫女)
- 宮崎 宏子(九州大)
- 安田女子大
- 安田女子大
- 安田女子大

第三回宗像大社 春季奉納盆栽展開催

去る五月三日より五日まで第三回宗像大社春季奉納盆栽展が開かれた。これは、宗像地区の愛好家で結成された宗像大社奉納盆栽会(会長、田中一男)が、参拝者の多い連休中に盆栽を展示し、盆栽に対する理解、普及、また会員相互の親睦、技術の研鑽を図るため開いているものである。春秋二回開催されるが、春は、花ものが中心となっている。

会場の大社祈願殿一、二階には、ふじ、つつじ等きれいに咲いた花ものが、松



等の松柏類にまじって、その鮮かさを一層まし、多くの参拝者の目を惹きつけていた。

出品者の間には、この期間になるべく花を咲かせようと苦心している方も多く、永年の苦心の作が出品されるわけである。

盆栽展も回を重ねることに定着し、盆栽愛好者も増

第三〇〇回 宗像大社歌会詠草

毎月末日 中村吾郎 選

東郷 藤崎 辰子
花の季よりの二羽なり鴨が
水蓮の高き枝に巣作る
(評) 成功しがたい二句切
れの手法がこの場合的確で
三句以下のさりげない具体
までが生かされた。

自申ヶ丘 後藤君代
水害に殉ぜし友の墓をめぐ
り梅雨ももる日を梅子匂ふ
(評) おだやかな表現の中
に、水害に殉じた友への思
慕が梅子の匂いに象徴され
て共感を呼ぶ。

棟梁の寸法計る材木に雨蛙
動かす何考ふ
(評) 棟梁と雨蛙との取合
わせが面白い。写実に徹し
ようとするは、「何を考ふ
」まで言うべきではない。

深田 中野 節子
梯子かけて百日紅の芽を整
理する友は藤色の地下足袋
を穿く

田熊 力丸 一郎
駐屯の冷泉校にて空襲をう
けたる恐怖よみがへり来る

大島 目原 節子
柳曳ける霞に浮かぶ貨物船
音なき朝を空ゆく如し

大島 中村さつき
手術して半ば癒えたる夫は
今喜び語るに省略のなし

大島 屋彦とみえ
一せいに白き十字の花つけ
しどくだみ匂ふ梅雨のあら
しに

自由ヶ丘支店
支店長 国崎 規志
宗像市自由ヶ丘二丁目七十七
TEL (0942) 331-5151

日の里支店
支店長 黒木 泰弘
宗像市日の里一丁目三二〇
TEL (0942) 336-2881

福岡支店
支店長 崎 田 博隆
福岡市大和町二七三八一〇
TEL (0942) 421-2231

赤間支店
支店長 久 田 敏雄
宗像市大字土穴三九七九
TEL (0942) 335-5655

宗像支店
支店長 倉重 文夫
宗像市大字東郷九一八一
TEL (0942) 336-2107

福岡支店
支店長 今 林 亀治
福岡市二七二六一五
TEL (0942) 421-2246

赤間支店
支店長 平塚 武義
宗像市大字土穴三八八一
TEL (0942) 337-2211

宗像宮清掃奉仕の老人会氏
子の気持しみじみと湧く

暑中御見舞申し上げます



<p>福岡銀行</p> <p>赤間支店 支店長 平塚 武義 宗像市大字土穴三八八一 TEL (0942) 337-2211</p>	<p>宗像支店</p> <p>支店長 倉重 文夫 宗像市大字東郷九一八一 TEL (0942) 336-2107</p>	<p>福岡支店</p> <p>支店長 今 林 亀治 福岡市二七二六一五 TEL (0942) 421-2246</p>	<p>赤間支店</p> <p>支店長 久 田 敏雄 宗像市大字土穴三九七九 TEL (0942) 335-5655</p>	<p>宗像支店</p> <p>支店長 倉重 文夫 宗像市大字東郷九一八一 TEL (0942) 336-2107</p>	<p>福岡支店</p> <p>支店長 崎 田 博隆 福岡市大和町二七三八一〇 TEL (0942) 421-2231</p>	<p>日の里支店</p> <p>支店長 黒木 泰弘 宗像市日の里一丁目三二〇 TEL (0942) 336-2881</p>	<p>自由ヶ丘支店</p> <p>支店長 国崎 規志 宗像市自由ヶ丘二丁目七十七 TEL (0942) 331-5151</p>
--	---	--	--	---	---	---	---

式内社顕彰会九州支部 第一回巡拝記

昨年十二月に結成された式内社顕彰会九州支部が第一回九州地区式内社巡拝を計画し、志岐、対馬の式内社を参拝した。この計画に全国式内社顕彰会役員が同行され参加者は、九州支部長兼津嘉之團長以下三十三名の多数になった。



青葉若葉の輝く六月八日より十日までの二泊三日で計画された巡拝会である。この志岐、対馬は古くから大陸との文化、交通上の中継地として栄えた島で、その歴史は遠く縄文・弥生時代にも遡り、その後、幾度となく襲った外敵の侵入にも耐え、独自の文化を今日まで守り続けて来た島である。

島の随所にその遺跡も多く、式内社の数も多い。志岐には二十四社(名神大社七社)、対馬には二十九社(名神大社六社)が全島に散在している。今回の志岐・対馬式内社の巡拝は、離島のひとつとして、又国境の島として、ここに鎮座する神社は、我が

国のまつりの古い姿をみる上でも、大変参考になるとして計画された。当日は曇りつつない青空で、福岡空港第一ターミナル、近距離航空カウンスル前に集合した人々の顔もほころんでいた。

午後十二時三十分塔乗、青い空と海をながめる間もなく機は対馬空港に着陸した。空港には、対馬歴史民俗資料館長であり日本考古学、民俗学会員永留久志(ながとめひさえ)先生の

手厚い出迎を受け、さっそく先生の案内で巡拝の旅に出発した。対馬観光バスのガイドの説明と、先生の名解読案内で全員楽しく第一の参拝社、海神社に詣でた。和多津美神社、住吉神社を参拝し、宿舎の対馬館原町、立尾荘別館に旅装をまといた。海の幸に舌つづみを打ちながら話もつきず夜は深けた。

明けて九日、快晴の中、八幡神社、多久豆魂、高御魂神社の巡拝を終り厳原より大型フェリーにて志岐へ元気に解散した。

前広場のシンボルとして、ステンレスの棒約二百本が挿れる、モニュメント(記念建造物)が設けられ、人々の目を引いている。このモニュメントは、高さ一・二メートルの台座の上に、直径九ミリと十六ミリの棒が並び、しりと並んでおり、風に揺られてそれぞれが微妙な音色を奏でている。

並んだ棒は、住民の交流を、金属音は語りたげを意味しており、晴れた日には太陽光線がステンレス棒にはじけて、光のカーテンをつくり出すなど、東郷駅の乗降客の心を和ませている。

国鉄東郷駅前広場の音と光のハーモニー

西日本最大の日の里団地の始め、宗像市西部地区、玄海町に居住する人々が利用する、国鉄東郷駅の日里団地側の駅前広場の、改修工事がこの程終了し、装いも新たになった。

この改修工事は、宗像市が今年三月中旬に、総工費約五千万円をかけて着工、

の状態を保っていなければなりません。また人間本来の愛からくどいまで申し出て、不純なもの無の無の心、捉われの無い心の状態の事です。

それはどんな状態の時かという、物事に熱中している時です。農家に例えていうならば作物を育てる為の苗を植えている時、種を播いている時、収穫の時、自営業の人も、勤めの時、又主婦の炊事場である事も言えるでしょう。これは総て労働であり、題材は無尽です。他を考えずその事一つに懸命であるときは、その人は「無」の状態にある筈です。心も又豊かでしょう。真理の真真中です。このような状態の時、ふっと浮かんだ状態のうものは不純などは微塵もありません。純粋です。新

に向う。離れ行く対馬の島影にそれらの思い出を浮かべながら船は玄界灘をすずかに進んだ。

午後四時船は志岐の郷浦に入港した。志岐は対馬にくらべなんと女性的な島である。

宿を志岐観光ホテルに取った。明けて十日も好天である。天手長比売、住吉、聖母神社の巡拝を終り午後二時、志岐をあとにする。午後六時、博多港に着いた。会員は再会を約しながら、元気に解散した。

短歌への私考 (二)

宗像大社歌会講師 中村 吾郎

話はあとさきになります。具象の大切さに就いてもう少しいわせて頂きます。

作者の方には申し訳ありませんが例として尤も解り易いので拝借させていただきます。

海の底にも都は有りと抱かれて幼帝の 悲しき運命

借しいかな、結句で一変しました。哀れな帝に寄るものが少いので、因に申します。思わず主観が出てしまいました。心が満れたので、もう少し時間を措いて感情の抑圧をはかったらと、と違ったものになったと思われま。

先ず具象を考えてみましよう。「幼帝の」のを「は」の助詞に変えたら後に続く具体としたら「沈みたりしか」より他に無いと思われま。これも想像の小主観ですが、見たわけでもないのだから仕方ありません。は、この儘で充分でしょう。

これ、具象のうったえる力が大きいことが解って戴けたものと思ひます。

そんな事は百も承知だと云われる方もあると思ひますが意外と忘れていることが多いです。因に申しますと、死語となつたような古い語は使つたりする自分の気持に使用しなすまで推敲すること。歌らしくしようと思つた事。嘘をいれない事。対象をしつかりと把握し、一首に普遍性を持たせる事。直感力を養う事等々。思ひつままに並べてみました。真実に触れると言葉が自ら新鮮になるという事も考えていっていると思ひます。その真実を受け入れるだけの心

の状態で保てなければなりません。また人間本来の愛からくどいまで申し出て、不純なもの無の無の心、捉われの無い心の状態の事です。

これは歌が下手だと卑下する必要は全くありません。歌は態度と心と腹を決めていれば恐れることはありません。多少の表現技術も必要ですが肝心なのは心です。技術は感受した感動を確かに言い当てるためのもので、追々身につくものです。

支離滅裂の拙文で解りにくかったと思ひますが、言わんとすることはお汲みと願ひたいと思ひます。

社務日誌抄

- 六月一日 月次祭 第十回宗像大社小倉百人一首かるた大会
- 六月二日 宗像大社責任役員会議
- 六月三日 北九州市港灣局 港官部業務課長高田正稔氏来社
- 六月四日 宗像市郡人権擁護委員十名参拝
- 六月五日 宗像市小学校百四十名神宝館参拝
- 六月六日 出光内航協議会 森会長外七名参拝
- 六月七日 元宮内庁掌典補 宮下短雄夫妻参拝
- 六月八日 出光興産福岡支店長 惠藤昭義氏・沖繩石油 精製所小林黎人氏参拝
- 六月九日 宗像・対馬式内社巡拝会、宮司、養父 祿宜、大野権祐宜参加(十日まで)
- 六月十日 第十回宗像大社小倉百人一首かるた大会
- 六月十一日 出光興産中央 研究所井上勝氏参拝
- 六月十二日 東京平川天満宮 上田宮司外参拝
- 六月十三日 式内社顕彰会 員禮原可人夫妻参拝
- 六月十四日 県警本部警備部公安第二課長丸山森男氏外二名・北九州市 港灣局港官部業務課長 高田正稔氏外一名来社
- 六月十五日 一日神社本庁 開催(於泉神社) 宮司、権宮司、宗像祿宜 外神職六名参加
- 六月十六日 宗像市 気多大社松尾氏来社
- 六月十七日 出光美術館竹井良氏来社
- 六月十八日 神社本庁組織渉外部長 末安大孝氏来社
- 六月十九日 月次祭 文書編纂委員会会議
- 六月二十日 東京侍従手塚 英臣氏、東宮職務主 管補佐尾沼次郎氏、皇 宮警察本部皇宮警視 田尚樹氏、北九州市港 灣局長橋川隆氏外六名 礼宮殿下御参拝打合せ の為来社、宮司、権宮 司、養父、宗像祿宜外 神職四名出席
- 六月二十一日 出光興産 北海道製油所々々長川崎 勝氏外一名参拝
- 六月二十二日 宮崎宮権祿 宜平田忠民来社
- 六月二十三日 出光興産 愛知製油所々々長杉村直 珍氏外参拝
- 六月二十四日 福岡地方検察庁検事正 八卷正雄氏外三名参拝
- 六月二十五日 出光興産 福岡支店山本猛氏外技 術系新人社員六名参拝

暑中御見舞申し上げます

福岡相互銀行

日の里支店
支店長 佐伯利恭
宗像市日の里一丁目二九一八
TEL 〇四一三六六七六七

赤間支店
支店長 田中親志
宗像市大字土穴字前田〇二
TEL 〇四一三三三三四一

正金相互銀行

自由ヶ丘支店
支店長 上田泰璋
宗像市自由ヶ丘五九七五一一
TEL 〇四一三三三三二一

宗像農業協同組合

組合長理事 川端 寿治

宗像市大字東郷六一一一
TEL 〇四一三六四一一〇

福岡県中央信用組合

宗像支店
支店長 山下義昭

宗像市大字東郷九四四一一四
TEL 〇四一三六一二二五二

宗像大社歌会
俳句作品集(二)

鐘崎 岩瀬 辰夫
月詣天神の森梅実のる
鐘崎 入江大太郎
観光客地曳網ひく夏海
福間 広渡一寿軒
母となる身巾を広く縫う浴衣
田熊 力丸 一郎
とまどいの妻いきあとの衣更
田熊 安部 ゆき
世の隅に生きるあぐれ若莪の花
津屋崎 西住喜三郎
落ち残る実梅の太り梅雨に入る
香椎 板矢クニコ
長生きの笑話し梅雨じめり
池田 小田しめゆ
郭公や武將語りし父とほし
麻沢 井上 玄洋
浜の道れば遠く夏の富士
津屋崎 井浦 良介
土用浪眼鏡の枠を取り換える
福岡中央 力丸玄風
ことのほか拝顔真近か春御苑
名古屋 野崎 傳三
伊那谷や馬が脱出す青すだれ



(続)



10

いしいただし



若狹なる三方の海の浜清
みい行き還らひ見れど鮫かぬかも
(万葉集七・一一七七)
しばらくの間、塩坂越の浜にたつて、海を見ていま

した。それかには、カニの季節で越前がらまた同じ道ニがどこにも並んでいまを引返し三方駅に戻り三た魚のつけものみいたなも小浜へ。かっでは保存食料にしたものですが、今は小浜の土産品となつていま

宿に帰つて、小浜の地図を開き、明日の細かなスケジュールをたてました。越前には八百比丘尼の伝説があります。小さい時分田雲浜の銅像(ジュゴ)という説もある)を食べてたために八百歳になつても容色がおとろえず、各地に八百年間遊歴し、小浜の空印寺の洞で命を絶つたといふのです。「八百比丘尼入定洞」とあるところがそれでしょう。

汽車の時間が度々いいのがあり、東小浜へ。駅から歩いて五分のところに、福井県立若狭歴史民俗資料館があります。十月十日から始まつた「いま甞る丸木舟展」の最終日で、九時開館、もちろん一面発見されているが、この鏡が発見されたのは、五世紀前半代に比定される円墳からである。埋葬施設の木棺の内に、副葬品として埋納されていたらしく、こ

古代史探訪 (19)

宗像の生活址

宗像市久原地域

宗像市久原地区に綜合公園建設計画が発表され、工事作業に伴ない、発掘調査も続けられているが、こより出土した遺物のなかで、二、三興味を引くものを挙げてみよう。

▲壱形土製輪
高さ八センチ・横九センチ・幅六センチの入り母屋造りの、平地式住居型の壱形土製輪である。横口方向を戸口としており、四方を壁でおおい、隅の部分に窓をつけている。棟の上の両側には千木(ちぎ)を付け、首と尻尾を表現したU字形

の土製品で、目は表わしてある機ではあるが、全体的に文様を描いてはいない。土師製の胎土が粗く、両端を持ちあげ、長さ八センチ、高さ五センチある棒状に仕上げられている。鳥も埴輪や木製品など各地で出土している。

▲猪形土製製品
目・鼻・口・耳と立髪・尻尾などすべてを描いた、長さ七センチ前後の須恵質の袋状にしており、口は前を垂直に切りおとし、横向き

に沈線を刻み込み大口とし、みるからに獣の脚である。脚部がほとんど折れていて、どのようにしていたか不明であるが、脚付壱形の土製品であったと考えられる。このことを土古墳出土の「掘台付子持土古墳」や、奈良県大塚山古墳出土の「装飾付壱形」が引用できる。同じ所から須恵質の「犬形土製品」も出土しているが、顔面の破片のみであるので、どの様にあつたかわれたか不明であるが、同様に壱形土器の装飾とされていたと思われる。

これらの土製品は、六世紀代の古墳周辺からの出土であり、この時期の死者を埋葬する際の、葬送儀礼の祭祀を行なったと見られる。この時期の死者を埋葬する際の、葬送儀礼の祭祀を行なったと見られる。この時期の死者を埋葬する際の、葬送儀礼の祭祀を行なったと見られる。



暑中御見舞申し上げます



玄海国定公園の中心……白砂青松の海水浴場……宗像大社からバス五分……神湊旅館組合

市外局番 (0940)

あけぼの荘	魚屋旅館	みなと荘	玄海旅館	高嘉旅館	望海荘	ニユ一千鳥荘	大島屋旅館	喜楽旅館	松風荘	泉館旅館	玄洋荘	川口屋旅館	勝浦荘	はま荘
電話 六一二六六番	電話 六一二二三番	電話 六一二五五番	電話 六一〇〇〇番	電話 六一二二二番	電話 六一一八二番	電話 六一〇〇六八番	電話 六一〇五五五番	電話 六一〇三三三番	電話 六一〇二〇番	電話 六一〇三五五番	電話 六一二二七番	電話 六一〇四八番	電話 六一二四七番	電話 六一〇五〇番